

保健事業報告

健幸まちづくり推進協議会資料

事業	令和5年度まとめ	令和6年度計画
母子保健事業	<p>1. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診 対象者 145人 受診者145人 受診率100% 乳児後期健診 対象者 153人 受診者149人 受診率97.4% 1歳8か月児健診 対象者 146人 受診者144人 受診率98.6% 2歳5か月児健診 対象者 150人 受診者146人 受診率97.3% 3歳5か月児健診 対象者 172人 受診者170人 受診率98.8%</p> <p>2. 健康相談・健康教育事業 子育て相談 参加者 延369人、離乳食教室 参加者 延40組 1歳すくすく教室 参加者 延39組 ハッピー親子教室 参加者 延116組 パパママ教室 参加者 延39人(パパ16人・ママ23人)</p> <p>3. 家庭訪問(延) 妊産婦 115人 乳児期 224人 幼児69人 その他 19人</p> <p>4. 予防接種事業 BCG147人 4種混合 596人 2種混合 192人 MR1・2期 327人 ヒブ549人 小児肺炎球菌 546人 日本脳炎1期 595人 日本脳炎2期 227人 水痘286人 ロタ 301人 B型肝炎 406人 子宮頸がん 455人 風しん抗体検査 80人 風しん5期 13人 風しん予防接種助成 24人(うち男性5人)</p> <p>5. 産前産後支援 母子手帳交付 125件(双胎1件) 妊婦面接(転入者含む)133人 マタニティ訪問(希望者のみ) 74人(産後訪問含む) 電話ヒアリング 19人 妊婦歯科健診 59件 妊婦健診受診実人数 211人 延1,641件 産婦健診受診実人数 133人 延251件 産後ケア利用者 宿泊型 実2人 延7人 訪問型 実8人 延30人</p> <p>6. その他 不妊治療給付 48件(延)、32人(実)(うち男性1人) フッ素塗布 139人 養育医療実人数 3人、延11件</p>	<p>1. 産前産後支援 妊娠届出時全数保健師等の面接を行う。 希望者にはオンライン(ZOOM)による面談、相談実施。 妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健康実施。 新生児聴覚検査費助成を実施。 新たに、1か月児健診を委託にて実施し、受診券を交付。 産後ケア事業継続実施。 産前産後サポート事業(マタニティ訪問)実施。 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を実現するため、 伴走型相談支援事業を新たに委託。</p> <p>2. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診、乳児後期健診、1歳8か月児健診、 2歳5か月児健診、3歳5か月児健診を毎月実施。</p> <p>3. 健康相談・健康教育事業 子育て相談: 予約制で各町で毎月1回実施。 離乳食教室: 毎月1回実施。 1歳すくすく教室: 年4回実施。 ハッピー親子講座: 7回シリーズを年2回実施。</p> <p>4. 家庭訪問 妊産婦から乳幼児までの希望される方必要な方に訪問を実施。 赤ちゃん訪問は全数訪問実施。</p> <p>5. 予防接種事業 個別接種を実施。 BCG、5種混合、4種混合、2種混合、MR1期、MR2期、 水痘、ポリオ(不活化)、日本脳炎I期II期、ヒブ、小児肺炎球菌、 ロタ、B型肝炎、子宮頸がん、風しん5期 風疹予防接種費用助成</p> <p>6. その他 フッ素塗布、養育医療給付事業、不妊治療給付事業の継続 実施。</p>
成人・老人保健事業	<p>1. 市民健診(各種健康診査、がん検診) 各がん検診と特定健診等のセット検診実施:23日間(内、休日1日) 歯周病予防健診:30歳から70歳の間の5歳刻みの方に実施 395人受診(受診率12.3%) 後期高齢者歯科健診:満75歳の方に実施(嚥下機能評価も実施) 112人受診(受診率20.2%) 骨粗しょう症健診:超音波による骨密度測定と栄養指導237人受診</p> <p>2. 健康教育、健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 2回シリーズ 実42人 糖尿病重症化予防事業(74歳以下)1人 市民健診結果報告会 30カ所 実711人 特定保健指導 積極的支援 4人、動機づけ支援 63人 その他出前講座 2回 延24人</p> <p>3. 介護予防教室 はつらつ筋トレ教室 25回×3カ所、24回×1カ所 延1,299人 体力測定会 2会場 延80人 結果報告会 2会場 延37人 介護予防サポーター養成講座6回シリーズ 実23人、延134人 介護予防サポーター研修会 2回 延75人</p> <p>4. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会 2回 4人</p> <p>5. 精神保健事業 睡眠講座(明治国際医療大学共催) 基礎編・実践編 延17人 市ホームページ等での自己チェックシステム『こころの体温計』 アクセス数 延6,219件</p> <p>6. 予防接種 高齢者インフルエンザ 6,490人(59.7%) 高齢者用肺炎球菌337人(20.7%)</p> <p>7. 後期高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室(低栄養・オーラルフレイル・ロコモ予防) 16カ所 延215人 後期高齢者の低栄養予防個別指導 4人 後期高齢者の糖尿病重症化予防個別指導 4人 健康状態不明者への対応 112人</p> <p>8. 情報発信</p>	<p>重点目標⇒「ひとりひとりの健幸を高めよう」 ①ポピュレーションアプローチによる運動習慣の促進 ②『ナトカリ比』を取り入れた食事指導で、高血圧を予防する ③糖尿病および糖尿病性腎症の予防</p> <p>1. 市民健診 個別乳がん検診・個別子宮頸がん検診:5月～12月実施 個別特定健診・すこやか健診:5月～9月実施 *個別(医療機関での健診) 集団検診(特定健診・すこやか健診・肺・胃・大腸・子宮・ 乳がん検診のセット検診):4月～5月 歯周病予防健診:7月～12月、30～70歳の5歳刻み節目 後期高齢者歯科健診:7月～12月、75歳対象 骨粗しょう症健診の実施</p> <p>2. 健康教育・健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 糖尿病重症化予防事業 市民健診結果報告会 特定保健指導</p> <p>3. 介護予防教室 体力測定会、体力測定会の結果報告会 11月に各4会場 介護予防サポーター養成講座の開催 介護予防サポーター養成講座修了生(元気アップなんたん)の支援 市民公開講座(地域型介護予防事業)</p> <p>4. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会:保健師と薬剤師による個別相談 2回 健康教室等で啓発物品配布</p> <p>5. 精神保健事業 睡眠講座の実施(基礎編、実践編) 市ホームページ等の自己チェックシステム『こころの体温計』</p> <p>6. 予防接種 高齢者インフルエンザ 高齢者用肺炎球菌 新型コロナウイルス感染症</p> <p>7. 高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室の実施 低栄養、糖尿病重症化予防の個別指導 高血圧未治療者対策 健康状態不明者への対応</p> <p>8. 情報発信 健康情報の発信 ・「健診受診勧奨」「がん予防」「歯周病予防」「フレイル予防」 「健康寿命の延伸」等を市の広報誌「広報南丹」の『なんたん健幸 ノート』にテーマごとにコラム(専門の方)の記事も盛り込み掲載。 ・「南丹市ホームページ」「南丹市Line」を活用した情報提供 ・健幸ポイント事業「カラダカルテ」のアプリを通じて情報提供 ・ホームページでの健康情報の発信 ・「高血圧を予防する生活習慣」「たばこ対策」等も健幸ステーション4箇所にパネル設置。リーフレット等も配架</p>

事業	令和5年度まとめ	令和6年度計画																		
健幸都市関係プロジェクト	<p>1. 健幸アンバサダー養成講座 8月10日開催 受講者26人(R4:40人)</p> <p>2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2022」参加者1,441人 健幸都市応援事業所 7事業所</p> <p>R3年度よりデジタル化し、3年目の実施。 活動量計やスマートフォンを身に付けて、健診受診やウォーキングや健康づくりに関するイベントなどに参加することでポイントを貯め、貯めたポイントを商品券に交換できる仕組みづくりを行った。 R5年11月とR6年3月にバーチャルウォーキングイベントを実施。各イベント1,100人あまりの方が参加された。 R6年3月6.7日にポイント交換会(日吉生涯学習センター・南丹市国際交流会館)は548人の方がポイント交換に来られた。</p>	<p>1. 健幸アンバサダー養成講座 8月28日午後 開催 定員100人</p> <p>2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2024」定員700人 健幸都市応援事業所 7事業所 市内の駅舎にのぼり設置</p> <p>3. 健幸運動教室Yori-2024 明治国際医療大学包括協定・健幸まちづくり推進協議会 食生活改善推進員育成研修2回目(運動)協同開催</p> <p>1. 健幸ポイント事業成果報告 2. 『食と運動のおいしい関係』ミニ講話:食生活改善推進員 3. 『つづけると10歳若返るインターバル速歩』齊藤昌久教授</p>																		
献血事業	<p>安全で持続可能な血液供給体制を構築するための献血思想の普及啓発を継続的に行うとともに、計画的な献血者の確保をはかるための献血推進運動を実施した。また、献血時に骨髄バンク登録もお願いし、新たに31名の方が登録された。</p> <p><令和5年度献血及び骨髄バンク登録者実績> 実施回数: 17日間(18回) 実施場所: 国際交流会館 3回 明治国際医療大学 2回 マルホ発條工業(株) 2回 京都建築大学校 2回 日吉はーとぴあ 1回 市役所八木支所 1回 ジャトコ株式会社 2回 京都府園部総合庁舎 2回 南丹警察署 2回 湖池屋京都工場 1回</p> <p>献血受付者:610人 献血実施者:539人(R4年度 689人) 骨髄バンク新規登録者 :31人(R4年度 41人)</p>	<p>赤十字血液センターの採血車による献血を16日間、17箇所を計画。このほか、全国的に展開される「愛の血液助け合い運動」や「はたちの献血キャンペーン」等と合わせて、広報紙等を通じて効果的な普及啓発活動を実施予定。</p> <p><令和6年度移動献血実施予定></p> <table border="0"> <tr> <td>4月25日 アスエルそのべ</td> <td>10月22日 京都建築大学校</td> </tr> <tr> <td>5月13日 明治国際医療大学</td> <td>11月26日 明治国際医療大学</td> </tr> <tr> <td>6月20日 京都建築大学校</td> <td>12月26日 国際交流会館</td> </tr> <tr> <td>8月23日 国際交流会館</td> <td>1月27日 ジャトコ株式会社</td> </tr> <tr> <td>8月28日 マルホ発條工業(株)</td> <td>1月29日 園部総合庁舎</td> </tr> <tr> <td>9月2日 南丹警察署</td> <td>2月日未定 マルホ発條工業(株)</td> </tr> <tr> <td>シミスふないの里</td> <td>2月日未定 南丹警察署</td> </tr> <tr> <td>9月5日 ジャトコ株式会社</td> <td>3月28日 旧日吉はーとぴあ</td> </tr> <tr> <td>9月25日 園部総合庁舎</td> <td></td> </tr> </table>	4月25日 アスエルそのべ	10月22日 京都建築大学校	5月13日 明治国際医療大学	11月26日 明治国際医療大学	6月20日 京都建築大学校	12月26日 国際交流会館	8月23日 国際交流会館	1月27日 ジャトコ株式会社	8月28日 マルホ発條工業(株)	1月29日 園部総合庁舎	9月2日 南丹警察署	2月日未定 マルホ発條工業(株)	シミスふないの里	2月日未定 南丹警察署	9月5日 ジャトコ株式会社	3月28日 旧日吉はーとぴあ	9月25日 園部総合庁舎	
4月25日 アスエルそのべ	10月22日 京都建築大学校																			
5月13日 明治国際医療大学	11月26日 明治国際医療大学																			
6月20日 京都建築大学校	12月26日 国際交流会館																			
8月23日 国際交流会館	1月27日 ジャトコ株式会社																			
8月28日 マルホ発條工業(株)	1月29日 園部総合庁舎																			
9月2日 南丹警察署	2月日未定 マルホ発條工業(株)																			
シミスふないの里	2月日未定 南丹警察署																			
9月5日 ジャトコ株式会社	3月28日 旧日吉はーとぴあ																			
9月25日 園部総合庁舎																				
食育推進事業	<p>◆食育の取り組み</p> <p>1. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で地域での食育の取組などの情報を月1回放送</p> <p>2. 「健幸食育レシピコンテスト」事業を地域と連携して実施 市内小学校4校・中学校4校より応募 応募数:382点の応募(小学校部門83点・中学生部門299点)</p> <p>◆栄養業務</p> <p>1. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室で栄養指導実施 (個別指導 延1,009人、集団指導 延138人)</p> <p>2. 市民健診結果報告会、骨粗しょう症健診時等に個別で栄養指導実施 (延239人)</p> <p>3. 食事診断・食習慣アンケートの実施と今後の課題 ⇒野菜を1日350g以上摂取する者の割合8.0% 塩分摂取量 男性1日7.9g、女性7.2g (目標:男性7.5g未満、女性6.5g未満) 今後も減塩についての取組み、啓発が重要である。</p> <p>4. 食生活改善推進員育成研修⇒3回延べ41名参加</p> <p>5. 食育の啓発 健幸レシピ作成(年4回発行:乳幼児健診、健康教育、健幸アンバサダー通信等で啓発:6109枚) ライン、ホームページ、健幸ポイント送信拠点に黒板を置いて啓発</p>	<p>◆食育の取り組み</p> <p>1. 食生活改善推進員育成研修・・・会員が健幸なまちづくりを目指し、地域での食育活動を実施できるよう育成研修を年3回計画実施(うち1回運動の回はYori-2024とコラボ事業とする)</p> <p>2. 「食育レシピコンテスト」事業の取組みで、地域・学校・各団体と連携し実施(テーマ①野菜と大豆製品を使ったカリウムたっぷりレシピ②野菜とかつおだしを使った和食健幸レシピ)</p> <p>3. 「健幸レシピ」の発行(年4回)</p> <p>◆栄養業務</p> <p>1. 特定保健指導・重症化予防における栄養指導の実施</p> <p>2. 食事診断の実施(バランス、塩分摂取量、野菜摂取量確認)</p> <p>3. フレイル予防(低栄養予防)のための栄養指導</p> <p>4. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室での栄養指導(個別指導、集団指導、訪問指導)</p> <p>5. 地域からの依頼による出前講座(サロン等)</p> <p>6. 食生活改善推進員育成研修(年3回開催予定)</p> <p>7. 食生活改善推進員との連携調整を随時行う</p> <p>8. 保育所栄養士、小中学校栄養教諭との連携</p>																		